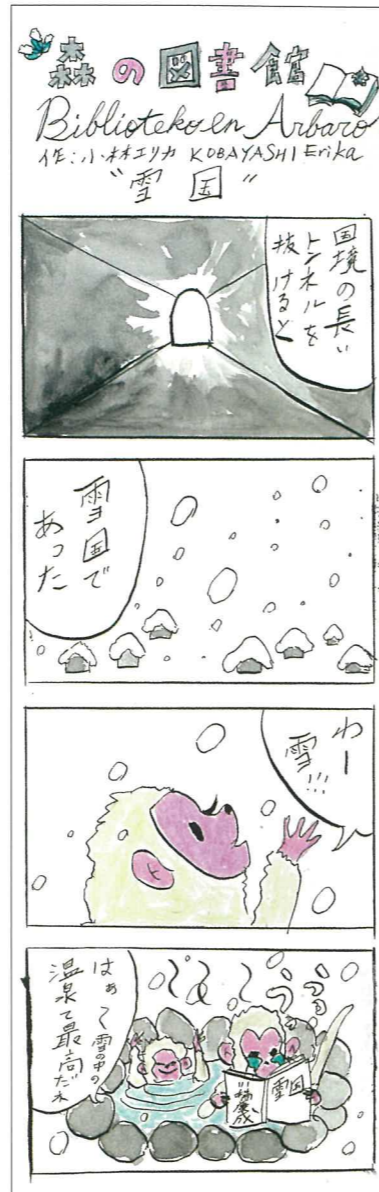
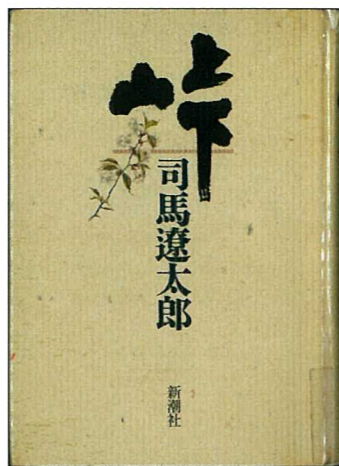


『峠』

司馬 遼太郎 著 (新潮社)

「歴史上の人物について、その魅力を再発見する」能力において、司馬遼太郎ほど優れた作家はいないと思っています。明治維新の功労者としてはあくまで二・三番手止まりという評価であった坂本龍馬が『竜馬がゆく』により日本史上最大の偉人となり、また旧来の時代劇では専ら敵役であった土方歳三も、『燃えよ剣』で壮烈なる英雄へと昇華しました。この『峠』も、越後長岡藩を戊辰戦争の渦に巻き込み、結果として藩を滅ぼした家老・河合継之助を再評価させる元となった本です。己が信じる道を一心に突き進み、しかし悲劇的な死を遂げた河合の生涯を通して、人間の能力・魅力、そして運命というものの非情さについて、深く考えさせられる筈です。

(サービス担当・岡崎)



千代田図書館

Check

館内で無線LANと有線LANをご利用になれます

9階のほぼすべてのスペースで無線LAN(Wi-Fi)に接続することができます。また、デスクタイプの席(86席)には、有線LANコネクタと電源コンセントが付いており、安定したインターネット接続をすることができます。お仕事や学習にお役立てください。
※初めてWi-Fiに接続する際には、館内に掲示してあるパスワードの入力が必要です。



CD版『広報千代田』『ちよだ区議会だより』と『声のおたより「ゆりかご」』をご存じですか？

ちよだボランティアセンター所属の団体が作成している、区の広報紙のCD(音声)版『広報千代田』と『ちよだ区議会だより』、季節の話題や音楽、小説の朗読など、盛りだくさんな内容のCD『声のおたより「ゆりかご」』をご存じでしょうか。どなたでも借りることができ、手を動かしながらでも気軽に聴けるので、ご自宅やAVブースなどでご試聴してみてください。



■配架場所：メインカウンター右脇29番棚

Illustration_Satoshi Ogawa

Information

展示ウォール

観てから読むと、もっとドキドキ 読んでから観ると、さらにワクワク
千代田で楽しむミュージアム&シアター ー秋・冬 COLLECTIONー
10月29日(月)～2019年1月26日(土)

この秋冬に、千代田エリアの博物館、美術館、劇場など約20施設で開催される展示や公演などの主要なコンテンツとともに、各施設のさまざまな特色をパネルで紹介し、また、展示物や作家、コンテンツに関連した書籍も手に取っていただけるよう豊富に展示します。

イベント

千代田図書館コンシェルジュと巡る神保町ツアー 「本の街でひらく 絵本のとびら」編

12月15日(土)13:00～15:30

※申込制

絵本や児童書を扱う神保町の店舗などをコンシェルジュがご案内した後、ブックハウスカフェで書店員さんや司書が読み聞かせや本の紹介などを行います。



過去の神保町ツアー

千代田Web図書館講習会 「電子書籍を活用しよう! 入門編」

12月21日(金)19:00～20:30

9階=第1研修室 ※申込制

今年3月に新しくなった千代田Web図書館の使い方やさまざまな電子書籍を紹介します。

冬のおはなしトレイン・BOOK TRAIN展示

12月26日(水)～2019年1月7日(月)

9階=第2展示ウォール、10階=児童書コーナー

乳幼児から中学生におすすめの本を年齢(学齢)ごとに展示します。

赤ちゃん向けおはなし会

毎月第2木曜日 11:00～11:30 10階=子ども室 ※申込不要

みんなで楽しめる絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行います。お子さんと保護者だけでなく、妊婦さんもお越しください。

人と社会が見えてくる読書会 ～本で語り合う方法～

11月20日(火)19:00～20:00 9階=特設会場 ※申込不要

「本と出会う読書サロン」の第17期オープニングイベントとして、読書サロンのメンバーがおすすめの本を多数紹介し、読書会の楽しみ方についてお話しします。

情報探索講習会「図書館の使い方講座」

11月21日(水)19:00～20:30 9階=第1研修室 ※申込制

千代田区立図書館の検索機能だけでなく、東京都立図書館の統合検索や国立国会図書館サーチなどを利用して、インターネットで本をさがす方法を紹介しします。

ほかにもイベントを多数開催！
詳しくはホームページで。

日比谷図書文化館の特別展 「江戸から東京へ～江戸城無血開城から東京の新たな幕開け～」

日比谷図書文化館1階の特別展示室では、12月2日(日)まで、特別展「江戸から東京へ～江戸城無血開城から東京の新たな幕開け～」を開催しています。ペリー艦隊による黒船来航以来の幕末動乱から江戸城無血開城、江戸から東京へと移り変わる街並みや社会の変化を、貴重な錦絵や古写真などを展示して紹介するとともに、江戸城無血開城の際に、皇女和宮や天璋院篤姫が果たした役割など、今まであまり語られなかった明治維新についても紹介しています。この機会に明治150年を振り返ってみてはいかがでしょうか。
※詳しくは図書館ホームページをご覧ください。



◀「東京桜田門之図」
(東京大学史料編纂所蔵)

▶和宮婚礼道具「櫛台」
(徳川記念財団蔵)



ご利用案内

■ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp>

■Facebook <https://www.facebook.com/lib.chiyoda>

千代田図書館

千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階 ☎03-5211-4289・4290

開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00

日・祝 ▶12/29～12/31 ▶10:00～17:00

※夏期は9:00開館

休館日 第4日曜日、1/1～1/3、特別整理期間

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線

「九段下」駅 4・6番出口より徒歩5分

昌平まちかど図書館

千代田区外神田3-4-7 ☎03-3251-5641

開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00

休館日 第2日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

神田まちかど図書館

千代田区神田司町2-16 ☎03-3256-6061

開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00

休館日 第3日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

千代田Web図書館

URL <https://www.d-library.jp/chiyoda> ※電子書籍の貸出サービス

関連施設

ちよだパークサイドプラザ 区民図書室

千代田区神田和泉町1

☎03-3864-8931

開館時間 月～土 ▶9:00～19:00

日・祝 ▶9:00～17:00

休館日 第3日曜日、年末年始、特別整理期間

千代田区男女共同参画センター MIW

千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F

☎03-5211-8845

開館時間 月～金 ▶9:00～21:00

土 ▶9:00～17:00

休館日 日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間



坂名で知る千代田区の歴史

千代田区には60ほどの坂があります。坂の名前は、その坂の周囲の状況などから付けられたものが多数あります。坂名の由来を知って、ときに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

コンシェルジュが

ゆく

図書館
コンシェルジュが
楽しい街情報を
おすすめ!

Spot 1 くんだざか 九段坂

靖国通りを九段下交差点から靖国神社方面に上る坂です。古くは飯田坂と呼ばれていました。名前の由来は、坂に沿って御用屋敷の長屋が九つの段に沿って建てていたためとも、急坂であったため九つの段が築かれていたからともいわれています。当時、坂の上からは東京の街を一望することができました。関東大震災後の帝都復興計画で、坂を削り緩やかな勾配にする工事が行われ、九段坂は大正通り(現・靖国通り)として、東京の主要な幹線道路の一部となりました。



Spot 2 なかざか 中坂

江戸時代初期、徳川家康が視察に来た際に、付近の農民である飯田喜兵衛が案内役を務め、それ以降喜兵衛が名主となったことから、この地域を飯田町と呼ぶようになりました。元禄10年(1697)の大火の後、新たにこの坂が作られ、飯田坂と呼ばれるようになります。その後、南にある九段坂と北にある冬青木坂(もちのきざか)の間にあることから中坂といわれるようになりました。江戸時代には、九段坂よりも中坂の方が重要な交通路で、多数の商店が軒を並べ、神田祭の山車などは中坂を通りました。区内には同名の坂が平河天満宮付近にもあります。



Spot 3 もちのきざか 冬青木坂

元禄10年の大火後、この坂より北側には武家屋敷が広がり、南側には元飯田町がありました。坂の途中にあった武家屋敷に植えられていた古木が、モチノキであるということから名付けられました。



Spot 4 かすみせきざか 霞が関坂

霞が関二丁目の外務省と中央合同庁舎2・3号館の間を西から東へ下る坂です。中世の頃、奥州街道の関所「霞ヶ関」が置かれていたといわれています。江戸時代は諸大名の屋敷が建ち並び、江戸土産の絵本や広重の錦絵の題材にもなりました。明治維新以降は、外務省や司法省、海軍省などが建ち並び中央官庁街となり、現在に続いています。



Spot 5 しおみざか 潮見坂

江戸時代初めまで、現在の日比谷公園や皇居外苑の辺りには日比谷入り江があり、大手町付近まで入り込んでいたといわれています。この坂のある台地から東側を望むと海が見えることから名付けられました。区内には同名の坂が皇居東御苑の中にもあります。



Spot 6 きんねんざか 三年坂

淡路坂(あわじざか)や陶山(すやま)が関とも呼ばれています。霞が関三丁目の財務省と文部科学省との間の坂です。かつて坂上の道路が湾曲していたことにちなみ米螺尻(さざえり)や、または周辺に鶯が多かったことから鶯谷という別名もありました。区内には同名の坂が五番町にもあります。



Spot 10 しんざか 新坂

新御茶ノ水駅付近の本郷通りから、淡路公園の南側を外堀通り方向に下る坂です。江戸時代、この場所は武家屋敷で、道はありませんでした。明治時代に、東京の都市計画が決められていく過程で、道路整備がすすめられ、大正元年(1912)の地図上でこの坂道を確認することができます。区内には同名の坂があと2つあります。

▼観音坂



▼新坂



Spot 11 かんのおんざか 観音坂

新坂の一本南に位置する坂道です。元禄期(1688~1704)まで、この坂の上に芦浦観音寺(茅渚観音寺)が建っていたことから観音坂と名付けられました。その後、観音堂があった場所は旗本屋敷となりました。



Spot 12 みょうじんおとこざか 明神男坂

神田神社(神田明神)の境内にある明神会館の脇から東に下る石段の坂で、明神坂(みょうじんいしざか)とも呼ばれています。天保の頃、神田の町火消4組が、石段と石灯籠を奉獻したと伝えられています。



Spot 13 みょうじんおんなざか 明神女坂

神田神社の社務所裏を南に20mほど行き、突き当たりを左に曲った石段の坂です。ちょうど、明神男坂から60mほど南に平行しています。明神男坂という坂名は、この女坂ができたことから対になる坂として名付けられたと思われます。



四番町図書館付近

Spot 7 みなみほうげんざか 南法眼坂

一番町6番地と8番地の間を北に上る坂です。江戸時代、この坂の脇に斎藤法眼という医師の屋敷があったことから名付けられました。



Spot 8 ぎょうにんざか 行人坂

南法眼坂からさらに北へ下る坂です。江戸の地誌『御府内備考』に「行人坂、古、某法印と称する行人この辺りに居するゆへこの名あり、また法印坂とも呼び法眼坂といふ。」と述べられているところから、坂の名がつけられたと思われます。なお、南法眼坂から行人坂、そして次に紹介する東郷坂は南北に続く一本の通りで、古くはこの坂道全体を法眼坂と呼んでいたようです。



Spot 9 とうごうざか 東郷坂

行人坂を下り切った所から、東郷元帥記念公園の西側を北に上る坂です。公園の場所に東郷平八郎元帥邸があったことからその名が付けられました。現在の公園は、その邸宅跡が区に寄贈されてからできました。(公園は現在閉鎖中)



下記で千代田区の坂について知ることができます。

■書籍

『千代田の坂と橋—江戸・東京の地形—』
千代田区立日比谷図書文化財事務局 / 編(千代田区教育委員会)
所蔵資料コード: 1080178336

■千代田区の文化財ホームページ内「資料・コンテンツ」のページ
坂の解説のほかに、古写真や古地図などの関連資料をご覧になれます。

【URL】

<http://edo-chiyoda.jp>

◆図書館バックヤード◆

図書館の本などを濡らしたり、汚したり、破いたりしてしまったときには、早めに図書館へお持ちください。図書館で修繕できる状態であれば、専用の道具などを使って引き続き利用していただけるように修理などをしています。



濡れてしまった本の場合、湿っている段階であれば、次のようにして直します。【①すべてのページに1枚1枚キレイな紙を挟む ②プレス機にかけて乾くまで数日置く ③挟んだ紙を取り除く】こうすることで、水分を別紙に吸収させて、プレスしてゆがみを防ぎます。乾いてしまったからでは、その方法での修繕が難しくなります。



破れてしまった場合は、劣化しにくい専用のテープで補修したり、専用の糊を使って目立たないように貼り合わせたりします。一度セロファンテープなどで貼ってしまうと、修理ができなくなることがあるので、必ずそのまま図書館へお持ちください。



また近頃、ペットボトルについて水滴や水筒のフタのゆるみなどから、バッグと一緒に入れておいた本が濡れてしまうことが多いようです。濡れたまま放置しておくと、紙がよれたり、紙同士が貼り付いたり、カビが発生したりしてしまいます。雨などでうっかり濡れてしまった本は、乾燥させずに早めに図書館へお持ちください。